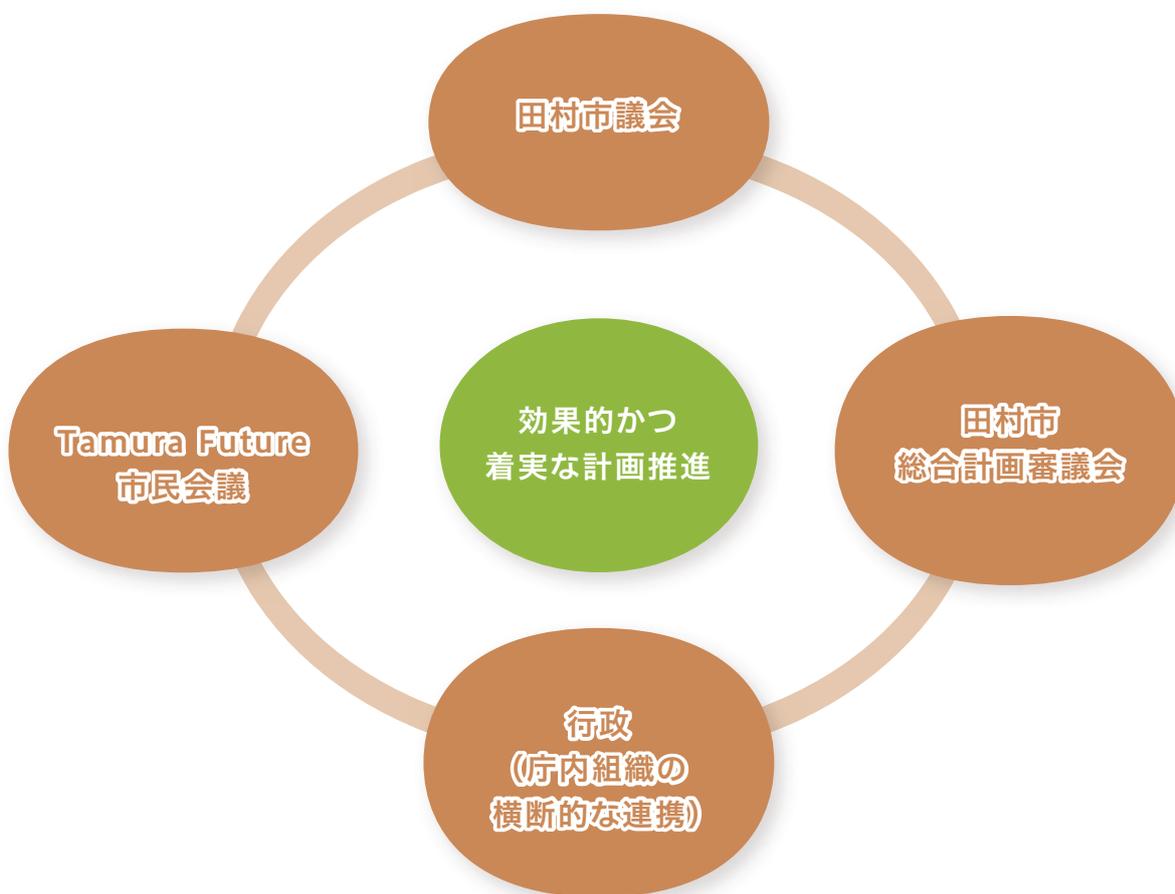


## 1. 計画の推進体制

本市の将来像の実現に向けて、庁内組織の横断的な連携を図り、全庁を挙げて本計画の効果的かつ着実な推進を図ります。

市議会、田村市総合計画審議会、「Tamura Future 市民会議」（市民、地域、関係団体、企業等の構成で新設する組織）と協力し、市民、地域、関係団体、企業、行政の協働によるまちづくりを実践します。

### ▶ 計画の推進体制



## 2. 計画の進行管理

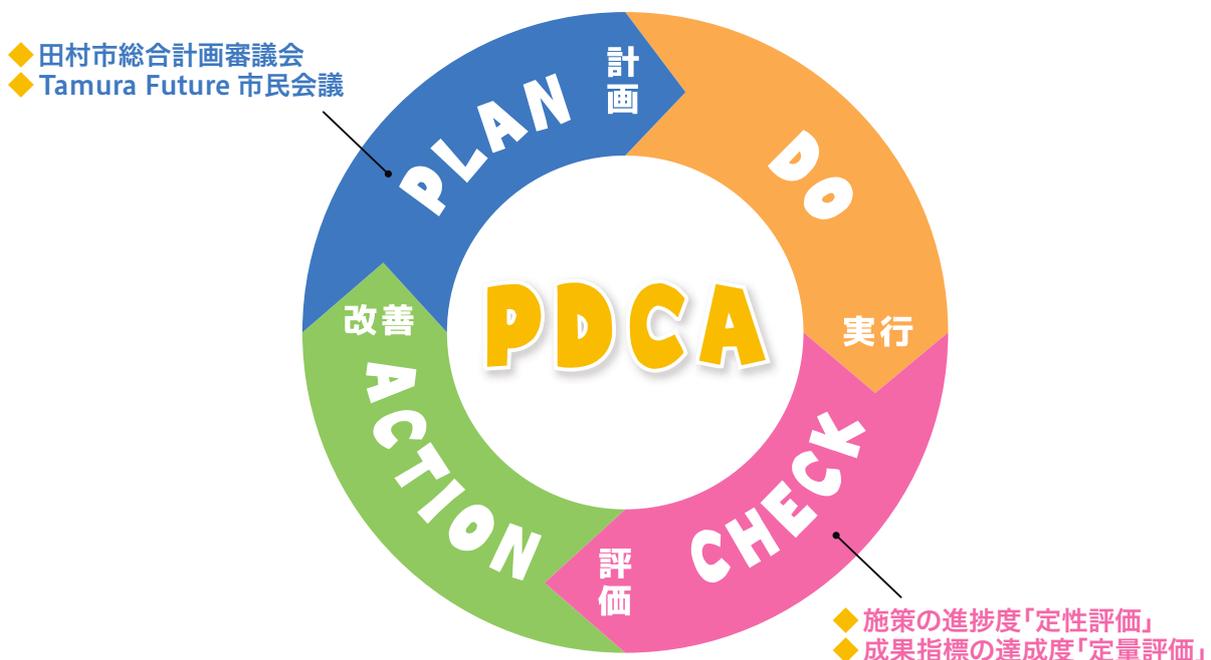
本計画の進行管理は、PDCAサイクルマネジメント\*15を基本にします。

本計画の進捗度は、行政において成果指標の達成度による「定量評価」と施策の進捗度による「定性評価」の2つの観点から評価します。

田村市総合計画審議会と「Tamura Future 市民会議」において2つの評価結果に基づき本計画の進捗度を検証するとともに、時代の変化に対して鋭敏で最善のまちづくりに向けての改善や見直しの提言・提案を行います。

\*15 PDCAサイクルマネジメントとは、Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Action（改善）を繰り返し、業務を継続的に改善する管理手法。

### ▶ PDCAサイクルマネジメント



## 3. 計画の見直し

基本構想は、国の制度改正、社会経済情勢や市民意向の変化、10年間のまちづくりの成果を踏まえて、最終年度である令和13年度（2031年度）に次期計画を策定します。

基本計画は、前期5年間の評価結果を踏まえ、前期計画の最終年度である令和8年度（2026年度）に後期計画を策定します。

なお、社会経済情勢に大きな変化が生じ、本市のまちづくりに極めて大きな影響を及ぼす場合は、計画期間中でも変更・改定します。